

# 平成22年3月定例会



平成22年第2回定例会は、3月2日から3月25日までの会期24日間で開かれました。

総額1,691億5,500万円の平成22年度一般会計当初予算案など44件の議案を原案どおり可決しました。

このほか、監査委員の選任について同意するとともに、意見書案1件を可決しました。

なお、請願3件については、いずれも不採択となりました。

定例会では、各会派の議員7人が議案や市政全般について質問しました。その概要は、次のとおりです。

## 可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福山市議会意思として、その実現に向け、国会および関係機関に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

◆「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

## 質問および答弁(要旨)

### 計画的な市政運営は

(明政会)

### 問

第四次福山市総合計画の4年目を迎えるが、今後、残された課題や市政運営にどのように対処するのか。

### 答

「人間重視」「環境重視」の視点で、持続可能な行政運営に着眼し、財政の健全化、財政規律を踏まえた行政運営を原点到、すべての施策、事業について、改めてゼ

ロベースで再検討・再構築を行い、再始動する考えであり、職員が一丸となり知恵を出し合い、将来都市像の実現をめざして、市民満足度の高い行政運営に取り組んでいく。

### ◆関連質問

・今後の財政運営に対する基本について  
(市民連合)

(仮称) 福山市立大学について  
(水曜会)

### 問

本大学は4年間の教育を通じ進路を100%確保することであるが、その実現に向けたカリキュラムや教員組織は。

### 答

多様な企業で活躍が期待できる豊かな創造性や実践能力を備えた人材育成をめざすため、少人数による対話型授業や実習、演習など多様な授業方法により、社会人として必要な基礎力の養成を重視したカリキュラム編成を考えている。専任教員は、経験豊富で多彩な分野で活躍している研究者や実務家教員を全国から招聘し、理論と実践の融合を図る組織体制と

する。全教職員が卒業後の進路に責任を持つてかわる支援体制を整える必要があると考える。

### ◆関連質問

・教育研究の基本的な考え方に  
ついて  
(公明党)  
・財源確保と現短期大学の施設の活用は  
(市民連合)  
・開学に向けての諸準備について  
(新政クラブ)

経済・雇用対策について  
(公明党)

### 問

経済不況が依然として続く中、市民から寄せられる声は切実である。①新年度の雇用対策事業の予算規模と、見込まれる雇用者数や経済効果は。②経営環境変化対応特別融資を含む中小企業融資制度の利用状況と、新年度の利用予測は。③国の緊急保証制度の認定状況は。

### 答

①緊急雇用創出事業やふるさと雇用再生事業などの雇用対策に係る事業費は約4億円で、147人の雇用を見込んでいます。②2009年度の新規融資件数は、1月末現在で1214件、融

※NPT (核不拡散条約) : 核兵器を保有できる国 (核兵器国) を米ソ (ロ) 英仏中の5カ国に限定し、それ以外の国 (非核兵器国) による核兵器の受領・製造を禁止する条約。